

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	コミュニティ創生の推進	個別事業掲載No	生 — 1
-----	-------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 地域が抱える課題について「共助」と「協働」により地域で解決していく「コミュニティ創生」の取り組みについて調査・検討を行う。「がんばる地域応援プロジェクト」を活用して、地縁型組織とテーマ型組織との連携による新たな協働関係の創出や、新たな地域自治組織の結成を支援する。住民協議会が実施する多世代交流事業などコミュニティ創生に向けた新たな事業や地域の活性化につながる新たな事業に対して支援を行う。																																																																																																											
	【事業量】 ・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議の開催（4回）及び報告書の作成 ・がんばる地域応援プロジェクト事業の実施及び事例集の作成 ・住民協議会活性化事業支援助成金の交付																																																																																																											
	<table border="1"> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="12">＜コミュニティ創生の研究＞ ←</td> </tr> <tr> <td colspan="12">プロジェクト・チームの再編・会議開催(2月に1回程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="12">→ 報告書作成</td> </tr> <tr> <td colspan="12">＜がんばる地域応援プロジェクト＞ ←</td> </tr> <tr> <td colspan="12">説明会 募集期間 選考委員会</td> </tr> <tr> <td colspan="12">採択事業の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="12">→ 発表会・交流会 事例集作成</td> </tr> <tr> <td colspan="12">＜住民協議会活性化への支援＞</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	＜コミュニティ創生の研究＞ ←												プロジェクト・チームの再編・会議開催(2月に1回程度)												→ 報告書作成												＜がんばる地域応援プロジェクト＞ ←												説明会 募集期間 選考委員会												採択事業の実施												→ 発表会・交流会 事例集作成												＜住民協議会活性化への支援＞										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																	
＜コミュニティ創生の研究＞ ←																																																																																																												
プロジェクト・チームの再編・会議開催(2月に1回程度)																																																																																																												
→ 報告書作成																																																																																																												
＜がんばる地域応援プロジェクト＞ ←																																																																																																												
説明会 募集期間 選考委員会																																																																																																												
採択事業の実施																																																																																																												
→ 発表会・交流会 事例集作成																																																																																																												
＜住民協議会活性化への支援＞																																																																																																												
事業の成果(目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に向けた課題解決策を見出し、コミュニティ創生が推進される。 ・多様な団体の協働による地域課題の解決が推進される。 ・多世代交流の取り組みを広め、地域における活動に厚みを持たせ、活性化と継続化が図られる。 																																																																																																											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>【コミュニティ創生の研究】平成28年8月25日、第1回コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議を開催。今後、ワーキング・チームのメンバーを決定し、設定した各テーマの調査・研究を行っていく。平成28年8月26日住民協議会事務局職員を対象とする財務研修を実施（参加者12名）。</p> <p>【がんばる地域応援プロジェクト】平成28年4月16日説明会開催（参加者31人）、平成28年7月9日選考会開催（採択団体12団体）</p> <p>【住民協議会活性化への支援】三鷹市井の頭地区住民協議会が実施する「多世代交流事業」に対して助成金を交付。（平成28年4月20日交付決定、平成28年4月28日助成金交付）</p>		
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的に重点的に取り組む課題とする。</p> <p>がんばる地域応援プロジェクトを含め、新たな発想でコミュニティ創生の事業展開を図ること。</p>		
	政策会議評価・意見等			
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績	<p>【コミュニティ創生の研究】コミュニティ創生検討プロジェクト会議の開催(2回)、ワーキング・チームの開催(活動5ヶ月間)、コミュニティ創生検討プロジェクトチーム報告書の作成、住民協議会委員及び職員研修の実施(1回)</p> <p>【がんばる地域応援プロジェクト】説明会の開催、選考会の開催、発表会の開催、事例集の作成</p> <p>【住民協議会活性化への支援】住民協議会活性化事業支援助成金の交付</p>																																																																																																												
	スケジュール	<table border="1"> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="12">＜コミュニティ創生の研究＞ ←</td> </tr> <tr> <td colspan="12">プロジェクト・チームの再編・会議開催、ワーキング・チーム公募・活動</td> </tr> <tr> <td colspan="12">→ 報告書作成</td> </tr> <tr> <td colspan="12">＜がんばる地域応援プロジェクト＞ ←</td> </tr> <tr> <td colspan="12">説明会 募集期間 選考委員会</td> </tr> <tr> <td colspan="12">採択事業の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="12">→ 発表会・交流会 事例集作成</td> </tr> <tr> <td colspan="12">＜住民協議会活性化への支援＞</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	＜コミュニティ創生の研究＞ ←												プロジェクト・チームの再編・会議開催、ワーキング・チーム公募・活動												→ 報告書作成												＜がんばる地域応援プロジェクト＞ ←												説明会 募集期間 選考委員会												採択事業の実施												→ 発表会・交流会 事例集作成												＜住民協議会活性化への支援＞											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																		
	＜コミュニティ創生の研究＞ ←																																																																																																													
	プロジェクト・チームの再編・会議開催、ワーキング・チーム公募・活動																																																																																																													
→ 報告書作成																																																																																																														
＜がんばる地域応援プロジェクト＞ ←																																																																																																														
説明会 募集期間 選考委員会																																																																																																														
採択事業の実施																																																																																																														
→ 発表会・交流会 事例集作成																																																																																																														
＜住民協議会活性化への支援＞																																																																																																														
事業の成果(実績)	<p>【コミュニティ創生の研究】ワーキング・チームの実施(メンバー27人)、報告書の作成、住民協議会への研修の実施(事務局職員財務会計研修平成28年8月26日参加者12人)</p> <p>【がんばる地域応援プロジェクト】採択団体11団体、事例集の作成・配布(1,800部)</p> <p>【住民協議会活性化への支援】コミュニティ・センター利用者数は、前年度比2万2,279人増の649,863人、多世代交流事業への助成金交付(30万円)</p>																																																																																																													
事業の総括(主管課)	<p>コミュニティ創生検討プロジェクト・チームにおいて、3つのテーマを設定し、ワーキング・チームによる調査・研究を実施した。また、地域課題を解決する主要な団体の一つである住民協議会の事務局職員を対象に「人財」の育成支援として研修を実施した。</p> <p>がんばる地域応援プロジェクトは、今年度も引き続き町会・自治会の未組織地域を含めた地域自治組織を対象とし、11団体の採択となった。団体間の情報交換や連携事業の増加など本事業をきっかけとして地域同士が新たな活力をもたらしている。</p> <p>昨年度に引き続き、井の頭地区住民協議会が実施する「多世代交流事業」に助成金を交付し、住民協議会活性化事業の支援を行った。</p>																																																																																																													
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th colspan="3">27年度実績</th> <th colspan="3">28年度当初</th> <th colspan="3">28年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="3">2,254千円</td> <td colspan="3">2,541千円</td> <td colspan="3">2,541千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td colspan="3">1,973千円</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">1,625千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td colspan="3">87.5%</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">64.0%</td> </tr> </table>	予算執行	27年度実績			28年度当初			28年度実績			予算額	2,254千円			2,541千円			2,541千円			決算額	1,973千円						1,625千円			執行率(%)	87.5%						64.0%																																																																							
予算執行	27年度実績			28年度当初			28年度実績																																																																																																							
	予算額		2,254千円			2,541千円			2,541千円																																																																																																					
	決算額		1,973千円						1,625千円																																																																																																					
	執行率(%)	87.5%						64.0%																																																																																																						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)																																																																																																										

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	観光に関する基本方針（仮称）の策定	個別事業 掲載No	生 — 2
-----	-------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 「住んでよし、訪れてよしのまち三鷹」の実現に向け、フィルムコミッション事業やホームページ、SNSなどによる三鷹の魅力の発信や、市内の集客施設、イベント、産業、文化など様々な観光資源の活用、市立アニメーション美術館への来訪や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機に三鷹を訪れる外国人との交流を活用したまちの賑わいづくりなど、市民との協働による観光まちづくりの指針となる、「観光に関する基本方針（仮称）」を策定する。なお、策定に当たっては庁内外の委員で構成される検討委員会を組織する。
	【事業量】 ・検討委員会の開催（5回） ・「観光に関する基本方針（仮称）」の策定（平成29年3月）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○検討 ○第1回 検討委員会 ○第2回 検討委員会 ○第3回 検討委員会 ○第4回 検討委員会 ○第5回 検討委員会 → 策定
事業の成果（目標）	・「観光に関する基本方針（仮称）」の策定により、市・関係団体、市民などが一体となった観光振興の基礎が作られる。

中間評価	上半期の実績・課題等	当初計画を変更し、市民、商店主、大学生も含めた多様なメンバーを構成員とするワーキングチームを新たに設置するとともに、開催回数を再調整し、年度内に検討委員会を3回、ワーキングチームを4回程度開催することとした。8月までに検討委員会を1回（7月）、ワーキングチームを2回（7月、8月）開催し、方針策定のための検討を進めた。年度末の方針策定に向け、検討会及びワーキングチームにおける検討を引き続き進める。
	事業評価審査会 特記意見	政策的に評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。
	主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績	・観光に関する基本方針の策定に向けた、庁内外の関係団体からなる検討委員会・ワーキングチームの開催 検討委員会 3回、ワーキングチーム 4回実施 ・三鷹市観光基本方針の策定（平成29年3月）															
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○検討 ○第1回 検討委員会 ●第1回WT ●第2回WT ●第3回WT ○第2回 検討委員会 ○第3回 検討委員会 ●第4回WT → 策定															
	事業の成果（実績）	検討委員会やワーキングチームを開催し、「三鷹市観光基本方針」を策定したことで、民学産公の協働による観光振興の基礎作りを行った。 基本方針は7部構成で、①基本方針策定の背景、②基本方針の理念及び方針策定の目的、③三鷹市の観光の現状と特徴、④三鷹市の観光振興における課題、⑤推進する施策の方向性、⑥推進体制・役割分担、⑦関連個別計画、にまとめられた。															
	事業の総括（主管課）	平成29年3月「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹」を理念とし、観光を軸とした民学産公の協働のまちづくりの指針となる「三鷹市観光基本方針」を策定した。 策定に当たっては、庁内外の関係団体から構成される検討委員会及びワーキングチームを設置した。ワーキングチームは4回開催し、市内の観光資源の洗い出しや強み等について、ワークショップ形式で検討を行った。また、検討委員会は3回開催し、ワーキングチームによる検討等を踏まえて、基本方針の理念や推進する施策の方向性について協議し、基本方針に反映した。 今後、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの世界的イベントの開催も控えており、三鷹市にも外国人を含めた多くの観光客の来訪が期待されることから、この方針に基づき、まちの特徴や魅力を最大限に生かしながら、市内外から訪れるあらゆる世代の人々が楽しめる事業の創出を図っていく。															
	事業評価審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算 執行</td> <td>27年度実績</td> <td>28年度当初</td> <td>28年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>15,967千円</td> <td>16,407千円</td> <td>16,407千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>15,307千円</td> <td></td> <td>16,386千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>95.9%</td> <td></td> <td>99.9%</td> </tr> </table>	予算 執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績	予算額	15,967千円	16,407千円	16,407千円	決算額	15,307千円		16,386千円	執行率（%）	95.9%	
予算 執行	27年度実績	28年度当初		28年度実績													
	予算額	15,967千円		16,407千円	16,407千円												
	決算額	15,307千円		16,386千円													
執行率（%）	95.9%		99.9%														
主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	都市農業の推進及び農地保全の取り組み	個別事業 掲載No	生 — 3
-----	--------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 「農のあるまちづくり」を推進するため、新鮮な農産物の供給をはじめ、緑と空間の創出、市内産農産物活用の地産地消の推進、災害時等の避難場所の確保等、多面的な機能を有する都市農地の保全と活用に向けて農家を実施する施設設備の整備などの都市農業の振興に取り組むとともに、東京都と連携して、国家戦略特区導入の検討・指定等に取り組む。 【事業量】 ・優良農地育成事業の実施 12件 ・都市農業活性化支援事業(パイプハウス設備及び養液培養システム等)の実施 6件 ・国家戦略特区導入の検討・指定等
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○優良農地育成事業補助 → ○都市農業活性化支援事業補助 → ○国家戦略特区導入の検討・指定等 →
	事業の成果 (目標) ・農産物等の生産性の向上と近代化が図られる。

中間評価	上半期の 実績・課題等 優良農地育成事業補助については、7月末までに予算内で14件の補助を実施し、目的を達成することができた。都市農業活性化支援事業(パイプハウス設備及び養液培養システム等)については、補助対象農家において、8月から順次工事に着手している。国家戦略特区導入の検討については、引き続き、国の動向を注視するとともに、東京都と連携しながら具体的な方策の検討を進める。
	事業評価 審査会 特記意見 政策会議 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・優良農地育成事業補助14件の実施(①バックホー、②トラクター、③パイプハウス、④動噴・トンネル、⑤野菜自販機、⑥マルチャー、⑦バックホー、⑧多目的自販機、⑨チップャー、⑩トラクターバックホー、⑪高所作業機、⑫軽トラック・多目的自販機、⑬保冷库、⑭トラクターの導入補助) ・都市農業活性化支援事業補助6件の実施(①パイプハウス3棟・野菜自販機、②パイプハウス1棟、③パイプハウス1棟、④パイプハウス1棟・養液栽培システム1式・野菜自販機1台・保冷库1台、⑤パイプハウス2棟、⑥養液栽培システム1式の導入補助) ・財務大臣への都市農地保全のための相続税を中心とした税制についての要望書の提出 ・国家戦略特区導入の検討
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○優良農地育成事業補助 → ○都市農業活性化支援事業補助 → ○国家戦略特区導入の検討・指定等 →
	事業の成果 (実績) ・農産物の安定的生産・端境期の供給・高品質化等のための農業施設・設備導入に対する補助事業の実施により、農産物等の生産性の向上と近代化が図られた。 ・優良農地育成事業補助では、事業申請者と50,067.99㎡の農地の保存協定を締結し、農地保全の成果を上げた。 ・JAと共催で実施した「都市農業を育てる市民のつどい(ブルーベリーと夏野菜の親子収穫体験:参加者親子36組83人)」や、三鷹市都市農業市民交流会と共催で実施した「収穫体験と芋煮会(参加者116人)」の開催は、市民が都市農業の役割や実状を理解する機会となった。 ・平成28年11月に財務大臣あてに、都市農地保全のための相続税を中心とした税制についての要望書を提出し、国への積極的な働きかけを行った。
	事業の総括 (主管課) 優良農地育成事業補助として多目的自販機、高所作業機、保冷库、トラクターなどの導入補助、及び都市農業活性化支援事業補助としてパイプハウス、養液栽培システムなどの導入補助によって、農業用施設・設備の導入支援を実施し、これらの補助事業により、農業者の経営力を強化し都市農業の振興を推進した。 特に優良農地育成事業補助では、事業申請者と農地の保存協定を締結し、農地保全の成果を上げることができた。引き続き、各種補助金や制度を活用し、農地の保全と利用の推進に取り組むとともに、都市農業を育てる市民のつどいなどの市民と農とのふれあいの場の提供を通じて、多くの市民に都市農業の役割を理解してもらうよう努めるなど、「農のあるまちづくり」を推進していく。 その他、今後も必要に応じ、農地保全や都市農業振興について、国への積極的な働きかけを行う。また、国家戦略特区の導入については、引き続き国の動向を注視し東京都と連携しながら検討していく。

事業評価 審査会 評価・意見等	予 算 執 行	27年度実績	28年度当初	28年度実績	
		予算額	84,374千円	87,929千円	87,929千円
		決算額	84,372千円		84,258千円
		執行率(%)	100.0%		95.8%

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)
-------	---	-----------	---	--

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	ものづくり産業等の集積・強化及び都市型産業誘致の推進	個別事業掲載No	生 — 4
-----	----------------------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 東京都の「ものづくり産業集積強化支援事業」及び「都内ものづくり企業立地継続支援事業」の補助金を活用し、市内事業者の移転に係る費用の補助、周辺環境と調和を図るための工事に係る費用の補助を行う他、国の「地方創生加速化交付金」も活用し、三鷹産業プラザ内のファブスペース（ものづくりを核としたコミュニティづくりスペース）について、多様な働き方を支援するための整備・運営を進めるとともに、日本無線株式会社三鷹製作所の跡地における市内事業者の操業支援に向けて関係部署と連携して取組を進める。また、「三鷹市都市型産業誘致条例」の周知活動や金融機関及び不動産事業者などとのネットワークを強化し、市内の土地情報や空き事務所情報等の共有を進めるなど、制度の利活用の促進に向けた検討を行い、市内への優良企業の誘致を推進する。SOHO事業者に対する支援としては、ミタカフェ（コワーキングスペース）の運営など引き続き一体的に支援する。 【事業量】 ・ものづくり産業集積促進事業助成金の利用社数 1社 ・ものづくり企業立地継続支援事業助成金の利用社数 4社 ・都市型産業誘致条例に基づく新規指定企業及び指定誘致協働事業者数 各2社	
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	事業の成果（目標）	市内ものづくり産業の市内移転を含む操業継続、優良企業の誘致、SOHOを含む多様な起業が推進される。
	事業概要・事業量	○ものづくり産業集積促進事業の推進 ○ものづくり企業立地継続支援事業の推進 ○ファブスペースの機器整備・運営 ○ミタカフェ運営

中間評価	上半期の実績・課題等	ものづくり産業集積促進事業助成金については1社（工場移転）、ものづくり企業立地継続支援事業助成金については3社（工場移転に係る設備輸送1社、防音工事2社）から交付申請があった。都市型産業誘致条例の指定実績はなかったが、昨年度までに認定された2社に対して補助金の交付申請手続きを進めた。ファブスペースについては、5月にリニューアルオープンし、更なる充実に向け新たに購入予定の機器（3Dプリンター、モデリングマシン）の選定を行った。日本無線株式会社三鷹製作所跡地については、関係部署と連携して今後の対応を協議するとともに、三鷹商工会工業部会所属の市内製造業事業者に対する同地区への移転等に関するアンケートの実施準備を進めた。ミタカフェの利用者数は増加傾向となった（7月末現在の利用実績：1,583人、前年度比6%増加）。		
	事業評価審査会特記意見	ものづくり産業等の集積支援に向けた新たな制度の利用促進に重点的に取り組むこと。	政策会議評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。若手経営者のネットワーク構築等によるものづくり産業の活性化支援について、創業まもない事業者や、これから創業を考えている人への支援となるよう、運用方法や委託先について再検討すること。
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹市ものづくり産業集積促進事業及び三鷹市ものづくり企業立地継続支援事業の実施 ①ものづくり産業集積促進事業：利用1社、相談1社、②ものづくり企業立地継続支援事業：3社（防音工事2社、移転1社） ファブスペースみたかの機器整備及び運営 3Dプリンター・モデリングマシン等の購入、会員数130人、みたかFabコンテストの出品者52人 ミタカフェ（コワーキング）利用者の増加・・・利用者数計4,969人 ※平成27年度4,103人 日本無線三鷹製作所の跡地活用への移転に関する意向調査・・・三鷹商工会工業部会会員154社に実施、回答73社 			
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月			
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹市ものづくり産業集積促進事業及び三鷹市ものづくり企業立地継続支援事業により、市内ものづくり産業の市内移転を含む操業継続を推進した。 三鷹産業プラザでのファブスペースみたかの機器整備（3Dプリンター・モデリングマシン等）及び運営やミタカフェ（コワーキングスペース）の運営によりSOHOを含む多様な起業支援を推進した。その他、市民一人ひとりのライフステージに応じた働き方の実現への支援を通じて、市民・事業者向けのワークショップを実施するなど、ライフ・ワーク・バランスの推進を図った。 日本無線三鷹製作所の跡地活用について、三鷹商工会工業部会会員の意向を確認し、今後の跡地利用の方向性を検討するための資料とする。 			
	事業の総括（主管課）	ものづくり産業等の集積・強化事業については、東京都の支援制度の活用を図りながら、①事業継続のための改修工事や移転に伴う費用を支援する「ものづくり企業立地継続助成金」を活用した防音工事を2社、移転を1社が行い、②工場等の工業系用途地域への移転に係る建設費用の一部を支援する「ものづくり産業集積促進事業助成金」を活用した市内移転を1社が行った。次年度の工場移転に向けた相談も1社あり、引き続き市内事業者への支援を行う。また、都市型産業誘致条例に基づき、既に指定している2事業者（4件）への支援を行ったが、新規の指定はなかったことから、今後一層の周知を図る。ものづくりを核としたコミュニティづくりのためのスペースである「ファブスペースみたか」の機器の整備や「Fabコンテスト」を実施し、ミタカフェ運営と合わせて、新しい働き方を模索する創業希望者やSOHO事業者等への支援を行った。日本無線三鷹製作所の跡地活用については、関係部署と協議するとともに、三鷹商工会工業部会会員に対して実施した移転に関する意向調査等を踏まえ、今後の跡地利用の方向性を検討する。			
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績
		予算額	72,307千円	99,083千円	99,083千円
		決算額	45,317千円		91,770千円
		執行率（%）	62.7%		92.6%
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成28年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	環境センター跡地の利活用の検討	個別事業 掲載No	生 — 5
-----	-----------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 環境センターの跡地利用について、土壌調査及び旧施設解体・土壌対策工事設計を行うとともに循環型社会の推進に向けた施設等の内容規模を検討し、循環型社会形成推進交付金の活用に向けて「三鷹・調布地域循環型社会形成地域計画」を改定する。その他跡地については、利用方針を検討する。 【事業量】 ・土壌調査の実施 ・旧施設解体・土壌対策工事の設計 ・地域計画の改定手続き	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	スケジュール	循環型社会形成推進交付金対象施設の検討・その他跡地の利用方針の検討 地域計画の改定手続き 土壌調査 旧施設解体・土壌対策工事設計											
	事業の成果 (目標)	循環型社会形成推進交付金対象施設の概要を決定し、交付金の活用に向けて「三鷹・調布地域循環型社会形成地域計画」の改定を行う。それ以外の環境センターの跡地は、平成27年度に設置した「環境センター跡地利活用検討推進チーム」にて利活用方針を検討し、決定する。また、環境確保条例第117条などに基づき土壌調査を実施し、調査結果を踏まえて旧施設解体・土壌対策設計を行う。											

中間評価	上半期の 実績・課題等	環境センター跡地利活用検討推進チーム会議を開催し、跡地の利活用について検討するとともに、三鷹・調布地域循環型社会形成地域計画改定に向けて、該当施設の機能等を検討した。また、環境確保条例第117条等に基づく土壌調査を実施し、その結果を踏まえて旧施設の解体・土壌対策工事の設計に着手した。下半期は、設計内容の精査を進め、工事等の効率的な工法等の検討を行う。また、そうした検討を踏まえて地域計画の改定を行うため、次年度以降に改定手続きを延期する。											
	事業評価 審査会 特記意見	実施方針等の再調整を行う。 政策会議 評価・意見等											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	「土壌汚染対策法」及び「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）」に基づき土壌調査を実施した。 また、旧施設解体・土壌対策設計については、土壌調査結果や人件費や資材費の高騰などによる受注環境の変化などを踏まえ、工事手法について、より慎重に検討する必要があることから、当初の設計内容を一部変更し、平成29年6月まで延長して行うこととした。											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果 (実績)	土壌調査の結果、土壌環境基準を超過している区画があることが判明し、平成29年2月に調査結果報告書を東京都へ提出した。旧施設解体・土壌対策設計については、土壌調査結果や人件費、資材費の高騰などによる受注環境の変化などを踏まえ、工事手法について、より慎重に検討する必要があることから、当初の設計内容を一部変更し、平成29年6月まで契約延長して行うこととした。 また、土壌調査結果を踏まえ、土壌環境基準を超過している区画の一部の土壌に対して暫定的な飛散防止措置（表層をシートで被覆）を行った。											
	事業の総括 (主管課)	土壌調査結果や平成29年度6月までに契約延長した旧施設解体・土壌対策設計業務の進行過程の情報などにより、平成29年度からの解体・土壌改良を延期し敷地の裸地部分のアスファルト被覆工事等に係る設計を行うなど、当初計画から変更が生じた。当面の暫定利用の方法及び地域計画の改定や交付金対象施設を含めた今後の跡地利活用の方針については、庁内の検討チームである「環境センター跡地利活用検討推進チーム」において引き続き総合的に検討を行う。											
	事業評価 審査会 評価・意見等	予算 執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績								
主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	予算額	0千円	133,124千円	133,124千円						
				決算額	0千円		58,000千円						
				執行率(%)	0.0%		43.6%						
				S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	山本有三記念館改修工事に向けた詳細調査・設計の実施	個別事業 掲載No	生 — 6
-----	---------------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 平成8年に開館した山本有三記念館は、平成28年度に築後90年を迎えるものと推定され、煙突外壁レンガが剥落するなど、施設の老朽化が進んでいる。そこで、来館者の安全を確保するとともに市の重要な有形文化財として末永く保存活用を図っていくため、平成27年度に実施した建物の構造や損傷度等に係る基礎調査の結果を基に、改修工事に向けた詳細調査及び実施設計を行う。
	【事業量】 ・改修工事に向けた詳細調査 ・改修工事に向けた実施設計
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← 改修工事に向けた詳細調査及び実施設計 →
事業の成果 (目標)	・詳細調査及び実施設計を完了させ改修工事への準備を完了するとともに、来館者の安全と文化財としての保存活用が図られる。

中間評価	上半期の 実績・課題等	平成28年7月に競争入札により設計業者(協同組合伝統技法研究会)を決定した。今後、ボーリング調査、コンクリート・コア抜き等の詳細調査及び実施設計の実施にあたっては、来館者や近隣住民に支障がないよう、業者・三鷹市・山本有三記念館(三鷹市スポーツと文化財団)の三者が密に連携を図りながら事業を進めていくこととする。		
	事業評価 審査会 特記意見	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	実績	平成28年7月に競争入札により設計業者を協同組合伝統技法研究会に決定し、改修工事に係る詳細調査(ボーリング調査、コンクリート・コア抜き検査等)及び実施設計を実施した。				
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	← 改修工事に係る詳細調査及び実施設計を実施 →			
	事業の成果 (実績)	委託業者により改修工事に係る詳細調査及び実施設計を実施するとともに、文化財保護審議会に実施設計に基づく改修内容の説明を行い、現状変更の許可を得た。これにより平成29年度の改修工事への準備を完了した。				
	事業の総括 (主管課)	平成28年7月に競争入札により設計業者を決定し、ボーリング調査、コンクリート・コア抜き等の詳細調査及び実施設計を実施した。詳細調査及び実施設計の実施にあたっては、来館者や近隣住民に支障がないよう、委託業者、三鷹市及び山本有三記念館の指定管理を行う三鷹市スポーツと文化財団の三者が密に連携を図りながら事業を進めた。また、文化財保護審議会に実施設計に基づく改修内容の説明を行い、現状変更の許可を得た。 平成29年度は、詳細調査及び実施設計に基づき改修工事を実施し、来館者の安全を確保するとともに、文化財としての保存活用を図っていく。				
	事業評価 審査会 評価・意見等		予算 執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績
			予算額	3,362千円	7,184千円	7,184千円
			決算額	2,639千円		6,966千円
			執行率(%)	78.5%		97.0%
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)		

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	太宰治寄託資料の特別公開など文学のまちづくりの推進	個別事業掲載No	生 — 7
-----	---------------------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 平成27年度に引き続き、太宰治の遺族（津島家）から寄託された重要資料について、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により展示会を開催するとともに、太宰の描いた貴重な絵画をテーマにした講演会を実施する。 また、都立井の頭恩賜公園の100周年事業と連携し、新たに文学展示室等の設置について検討を行う。
	【事業量】 ・展示会の開催（6月11日～7月3日） ・講演会の実施（6月25日） ・文学展示室等の設置の検討
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ←————→ 展示会の開催（6月11日～7月3日 場所：美術ギャラリー第三展示室） ○講演会の実施（6月25日 場所：三鷹ネットワーク大学 講師：勅使河原 純） ←————→ 文学展示室等の設置の検討
事業の成果（目標）	・展示会及び講演会の実施、文学展示室等の設置検討により、「文化の香り高い三鷹」を目指した芸術・文化のまちづくりが推進される。

中間評価	上半期の実績・課題等	・津島家寄託太宰治資料展Ⅱを平成28年6月11日～7月3日に三鷹市美術ギャラリーにて実施した（来場者2,585人）。 ・三鷹市太宰治文学サロン・三鷹ネットワーク大学共催講演会「太宰治は絵描きだったのか!？」を平成28年6月25日に三鷹ネットワーク大学にて講師に美術評論家の勅使河原純氏をお招きして開催した（来場者91人）。 ・文学展示室等の設置については、施設規模、施設内容、設置場所の検討に着手した。		
	事業評価審査会特記意見	政策的に重点的に取り組む課題とする。 本施設整備に係る財源について、国・東京都などの補助金の活用や、寄付について検討を進めること。		
	政策会議評価・意見等			
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績	・平成28年6月11日～7月3日に「津島家寄託太宰治資料展Ⅱ」の開催（三鷹市美術ギャラリー） ・平成28年6月25日に講演会「太宰治は絵描きだったのか!？」の実施（三鷹ネットワーク大学） ・三鷹市立太宰治文学館（仮称）及び三鷹市立吉村昭書斎（仮称）の整備に向けた検討会議の設置 検討会議委員に委嘱状を交付（2月21日） 検討会議の開催：3回（2月21日、3月7日、3月22日）															
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ←————→ 資料展を開催（6月11日～7月3日 場所：美術ギャラリー第三展示室） ○講演会を実施（6月25日 場所：三鷹ネットワーク大学 講師：勅使河原 純） ←————→ 三鷹市立太宰治文学館（仮称）及び三鷹市立吉村昭書斎（仮称）の整備に係る基本プラン作成に向けた協議 検討会議の設置（2月21日）○ 検討会議の開催（2月21日、3月7日、3月22日）○ ○ ○															
	事業の成果（実績）	・「津島家寄託 太宰治資料展Ⅱ～師、友 そして「饗応夫人」～」：来場者 2,585人 ・講演会「太宰治は絵描きだったのか!？」：来場者 91人 ・三鷹市立太宰治文学館（仮称）及び三鷹市立吉村昭書斎（仮称）の整備に係る基本プラン作成に向けた協議を進めた。															
	事業の総括（主管課）	「津島家寄託 太宰治資料展Ⅱ～師、友 そして「饗応夫人」～」を三鷹市美術ギャラリーで開催し、2,585人の来場者があった。また、三鷹市太宰治文学サロンと三鷹ネットワーク大学との共催で講演会「太宰治は絵描きだったのか!？」を三鷹ネットワーク大学で実施し、91人の来場者があった。 三鷹市立太宰治文学館（仮称）及び三鷹市立吉村昭書斎（仮称）の整備については、基本プランや設計に係る経費を12月に補正予算を組み、検討会議を3回（2月21日、3月7日、3月22日）開催し、事業全体のあり方・方針などについて、ご遺族のお考えや助言者からのご意見を伺いながら、基本プラン作成に向けた協議を進めた。平成31年の開設を目指し、文化の薫り高い三鷹市の価値を高める施設となるよう取り組んでいく。															
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td>27年度実績</td> <td>28年度当初</td> <td>28年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>1,100千円</td> <td>1,510千円</td> <td>32,922千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>1,057千円</td> <td></td> <td>2,411千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>96.1%</td> <td></td> <td>7.3%</td> </tr> </table>	予算執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績	予算額	1,100千円	1,510千円	32,922千円	決算額	1,057千円		2,411千円	執行率(%)	96.1%	
予算執行	27年度実績	28年度当初		28年度実績													
	予算額	1,100千円		1,510千円	32,922千円												
	決算額	1,057千円			2,411千円												
	執行率(%)	96.1%		7.3%													
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）													

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた事業の実施及び研究の推進	個別事業 掲載No	生 — 8
-----	---------------------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 平成28年度は、「市民協働型グローバル観光化推進事業」と「三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究」の2つの継続検討事業の検討と研究を進める。新たなサステナブル政策事業については、サステナブル都市政策検討チームからの提案を受け検討する。また、サステナブル政策事業として創設した「新エコタウン開発奨励制度」を推進し、エコ住宅の建設を誘導する。 【事業量】 ・サステナブル都市政策検討チーム会議の開催（3回、講演会含む。） ・サステナブル都市政策検討チーム第5次報告書の作成 ・新エコタウン開発奨励制度のPRの実施、エコ住宅の建設誘導
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○第1回全体会議 ○各ワーキングチーム会議（視察） ○新エコタウン開発奨励制度PR・建設誘導 報告○
	事業の成果 （目標）

中間評価	上半期の 実績・課題等	プロジェクト・チームメンバーを選定し、第1回サステナブル都市政策検討チーム会議を開催した。会議では、「市民協働型グローバル観光化推進事業」「三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究」の2つの継続検討事業の検討と研究を進めることとし、各ワーキング・チームリーダーがワーキング・チームメンバーを選定した。下半期では、各チームで視察等を行い、報告書の作成に向け検討と研究を進めていく。また、新エコタウン開発奨励制度は、広報・ホームページに掲載し、制度のPRを行った。対象となる大規模な開発が見込めず、該当する開発事業が出るか、不透明な状況である。		
	事業評価 審査会 特記意見	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	実績	・サステナブル都市政策検討チーム プロジェクト・チーム検討会議：開催3回 「市民協働型グローバル観光化推進事業」：会議開催5回、視察2回（平成28年度で検討終了） 「三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究」：会議開催5回、視察1回（平成28年度で検討終了） 平成28年度の検討結果をサステナブル都市政策検討チーム第5次報告書に取りまとめた。			
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○第1回検討会議 ○第2回検討会議 ○各ワーキングチーム会議 ○新エコタウン開発奨励制度PR・建設誘導 第3回検討会議○ 報告○			
	事業の成果 （実績）	・サステナブル都市政策検討チーム ①「市民協働型グローバル観光化推進事業」は、市民協働型多言語情報発信等について検討を行い、外国人観光客など関係する全ての人々が楽しさや、快適さを感じるまちを目指すことが重要であると結論付けた。本検討結果と今年度策定する「三鷹市観光基本方針」に基づき、みたか都市観光協会等が中心に民学産公の連携のもと、次年度以降、主管課等で研究・検討していく。 ②「三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究」は、化石燃料に代わる次世代エネルギーの活用技術や有効性、また、コストや法規制等の課題を整理することができた。検討結果を主管課等において将来のエネルギーの利活用の検討・研究に役立てていく。 ・新エコタウン開発奨励制度は、積極的にPRを行ったが、制度の対象となる大規模な開発事業がなかったため申請はなかった。			
	事業の総括 （主管課）	サステナブル都市政策検討チームでは、継続検討事業として①「市民協働型グローバル観光化推進事業」②「三鷹市における次世代エネルギーの活用に向けた政策研究」の検討を行い、報告書にまとめた。現状分析、課題の把握、施策の方向性の整理など、一定の取組みが行われたことから、チームとしての研究・検討は終了し、次年度以降、主管課等で事業化に向け、研究・検討を継続していく。また、これまでに事業化（推進中を含む）した「エコタウン開発奨励制度」「市民防災意識向上のための備蓄食料品の有効活用制度」「まちなかグリーンベルト創出事業（市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化の推進）」「スマートコミュニティ推進のためのサイクルシェア事業」「再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）事業」の検証を行った。 「新エコタウン開発奨励制度」は、対象事業がなかった。平成28年度までのサンセット事業であり、旧制度を含め一定の成果をあげたことから、事業を終了する。			
	事業評価 審査会 評価・意見等	予算 執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績
		予算額	69千円	37千円	37千円
		決算額	34千円		0千円
		執行率（%）	49.3%		0.0%
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	衛生的な家屋管理等に向けた居住者への支援策等の検討	個別事業 掲載No	生 — 9
-----	---------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 衛生的な家屋管理等に向けた居住者への支援策等（いわゆるごみ屋敷対策）プロジェクトチーム報告を受けて、部課長による庁内対策会議を設置し、対応する部署を調整するとともに、居住者への経済的支援策等を検討する。また、カンファレンス（関係部署が役割を分担し、適切なサービスの提供及び指導を行うための会議）により、ごみ屋敷の各案件ごとに対応を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ屋敷案件ごとにカンファレンスを開催 経済的な支援策等の検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>○庁内対策会議の設置</p> <p>ごみ屋敷各案件の対応</p>												
事業の成果（目標）	ごみ屋敷各案件を改善することにより、良好な生活環境の実現を目指す。												

中間評価	上半期の実績・課題等	衛生的な家屋管理等に向けた庁内対策会議設置要綱を作成した。下半期は、要綱に基づき庁内対策会議を開催し、それぞれのごみ屋敷への対応方針を決定する。その中で、当面对応が必要な案件について、カンファレンスを開催し、情報交換、発生元の対象者へのアプローチ方針に係る意見交換、関係機関や地域関係者の役割分担の調整などを行い、経済的支援も含めた総合的な対応策により、ごみ屋敷の解決を図る。課題としては、対象者の心身の状況や家族関係の複雑さ、経済状況等、困難な要因が山積し、解決の見通しが、なかなかつかないことである。											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等											
	主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	衛生的な家屋管理等に向けた庁内対策会議を新たに設置し、ごみ屋敷の現状確認を行い、対応等を検討した。各事案については、関係各課の担当者によるカンファレンスを行い、当事者支援をもとにごみ屋敷解消策に向けた協議を行い、対応を図った。											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>○庁内対策会議設置要綱作成</p> <p>○庁内対策会議開催</p> <p>ごみ屋敷各案件の対応</p> <p>カンファレンス○ ○ ○</p>												
	事業の成果（実績）	関係各課の担当者によるカンファレンスにおいては、関係機関や地域関係者と情報を共有し、連携することで、ごみ屋敷の解消を図った。その結果、居住者との話し合いを継続する中で、週2回の特別ごみ収集を2か月実施し、ごみ屋敷を1件解決するとともに、解決に向けた折衝を1件開始した。また、解消に至らなかった案件についても、夏季における緊急のネズミ対策など、良好な生活環境を維持するため個別の対応を図った。											
	事業の総括（主管課）	ごみ屋敷の解消に向けては、庁内対策会議を新たに設置し、各事案については関係各課の担当者によるカンファレンスを行い、当事者支援をもとに解決を図った結果、一定の成果があった。課題としては、当事者支援をもとに対応策を検討しているが、当事者が各種支援対象者でない場合（生活保護世帯や障がい者等の減免対象となる方など）や支援を受けることを拒むケース等において事案解決に時間がかかっているケースが複数存在するため、さらなる検討・調整を進める必要がある。											
事業評価審査会評価・意見等							予算執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績			
						予算額	0千円	0千円	0千円				
						決算額	0千円		0千円				
						執行率（%）	0.0%		0.0%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	井口コミュニティ・センター耐震補強の実施	個別事業 掲載No	生 — 10
-----	----------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 コミュニティ活動及び地域防災活動の重要な拠点の一つである井口コミュニティ・センターについて、本館（一部）及び体育館の耐震補強工事を実施する。</p> <p>【事業量】 ・井口コミュニティ・センター本館（一部）及び体育館の耐震補強工事</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>← 起案・契約 × 耐震補強工事 →</p> <p>・耐震補強工事の完了により、全てのコミュニティ・センターの耐震補強が完了し、来館者の安全確保が図られる。</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	平成28年8月23日に一般競争入札により施工業者が決定した。工事期間中は体育館利用を休止するため、市報や西部地区住民協議会が発行している広報紙等にて広く周知を行った。また、当該事業の財源として社会資本整備総合交付金の申請を平成28年4月1日に行った。（交付決定は平成28年12月頃）										
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等										
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	・井口コミュニティ・センター本館の一部及び体育館の耐震補強工事完了（平成29年2月）																									
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
	事業の成果（実績）	<p>①工事 ← 起案・契約 × 耐震補強工事 →</p> <p>②工事監理 ← 契約 × 工事監理 →</p> <p>当初の計画どおり平成28年8月から着工し、平成29年2月に検査合格となり、概ね予定どおり工事は完了した。 なお、当該施設を管理する三鷹市西部地区住民協議会との綿密な連携を行った結果、施設利用団体とのトラブルもなく、平成29年3月に実施されたコミュニティまつりも滞りなく開催することができた。 また、社会資本整備総合交付金については、平成28年12月に交付決定を受け、本事業に活用した。（実績額：9,616千円）</p>																									
	事業の総括（主管課）	<p>前年度に引き続き国の補助金（社会資本整備総合交付金）を活用し、耐震補強工事及び追加で実施した体育館屋根の雨漏りを改善する防水工事を平成29年2月に完了した。 なお、工事実施にあたり、三鷹市西部地区住民協議会、都市整備部公共施設課及び工事請負業者と綿密な連携を図ることで、トラブルもなく概ね当初の計画どおりの工期で工事が完了した。 また、本件工事の完了により、市内7つのコミュニティ・センターの耐震補強がすべて完了したので、今後も適宜必要な修繕を重ね、災害に強いまちづくりを推進していく。</p>																									
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td>27年度実績</td> <td>28年度当初</td> <td>28年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>9,316千円</td> <td>52,064千円</td> <td>51,826千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>8,219千円</td> <td></td> <td>38,483千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>88.2%</td> <td></td> <td>74.3%</td> </tr> </table>											予算執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績	予算額	9,316千円	52,064千円	51,826千円	決算額	8,219千円		38,483千円	執行率（%）	88.2%	
予算執行	27年度実績	28年度当初	28年度実績																								
	予算額	9,316千円	52,064千円	51,826千円																							
	決算額	8,219千円		38,483千円																							
	執行率（%）	88.2%		74.3%																							
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																							

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	買物環境の整備	個別事業 掲載No	生 — 11
-----	---------	--------------	--------

当初計画	【事業概要】 買物支援モデル事業を引き続き実施する。実施に際しては、市や関係団体で構成した買物支援事業本部の支援の下、公募等によって選定された協議会（商店会単位）が、各地域の特性に合わせて検討した事業を行う。また、商店主が地域の住民に自らの技術や知識などを講義し、地元の消費者との密接した関係を築く事業などを検討する。 【事業量】 ・買物支援本部会議の開催（2回） ・協議会の増加（1地区） ・買物キャラバン隊の拡充（2店舗）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○買物支援本部会議の開催（第1回） ○買物支援本部会議の開催（第2回） ○協議会の募集 →
	事業の成果（目標） ・買物環境の整備を通じて、地域商店会の活性化及び消費者の利便性向上が図られる。

中間評価	上半期の実績・課題等 6月に第1回買物支援事業本部会議を開催し、平成27年度の事業報告及び平成28年度の取り組みを決定した。8月には買物支援事業意見交換会を開催し、23人の協議会関係者が参加するとともに、6つの協議会の活動内容が紹介され、事業のノウハウなどの情報共有を図った。今後、各協議会による、地域の実情にあわせた、更なる事業内容の充実を促進する必要がある。
	事業評価 審査会 特記意見 政策的に 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。 事業者による宅配サービスが普及している中で、買物環境の整備として公的に求められていることを福祉的な視点も含め、再度整理・検討すること。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・買物支援本部会議開催 2回 ・買物支援実施協議会の公募実施（商店会長連絡会での通知、各商店会長宛て通知） 新たな協議会の応募はなかった。 ・買物応援キャラバン隊の拡充 3店舗増（計39店舗 47件） ・本部事業として井の頭地域への宅配サービスを行う店舗情報を掲載した冊子を発行
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○協議会の募集 → ○買物支援本部会議開催（第1回） 買物支援本部会議開催（第2回）○
	事業の成果（実績） ・①、②の取り組みにより、地域商店会の活性化と消費者の利便性の向上が図られた。 ①本部事業 井の頭地区宅配店舗冊子発行 ②協議会事業への支援 連じやく朝市開催 6回、消研だいいち開催 11回、あおやぎ市開催 4回 ・買物応援キャラバン隊の拡充により、定期的な市場（マルシェ）の開催や商品の宅配サービスの実施等における支援の充実が図られた。
	事業の総括（主管課） 各協議会が実施する、朝市や宅配サービス情報を掲載したパンフレットの製作等を支援した。新たな取り組みとしては、本部事業として井の頭地域への宅配サービスを行う店舗情報を掲載した冊子を発行し、店舗の認知度アップと消費者の利便性向上を図った。また、各協議会を集めて意見交換会を実施し、成功事例の発表や、現状の改善点などを話し合い情報連携と課題の共有化を図った。 商店主が地域の住民に自らの技術や知識などを講義し地元の消費者との密接した関係を築く事業については、三鷹市商店会連合会が講師を招いてまちゼミ講習会を開催するなど、事業実施方法などの検討を行っているため、買物支援事業本部としての連携可能性について検討していく。 次年度以降も引き続き各協議会と連携した事業を進めるとともに、庁内の福祉部局、地域団体、事業者等とも連携し、地区特性に応じた買物環境の整備を推進する。
	事業評価 審査会 評価・意見等 今後、健康福祉部との連携を視野に入れた検討を進める必要がある。 予算執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 5,000千円 5,000千円 5,000千円 決算額 5,000千円 5,000千円 執行率(%) 100.0% 100.0%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	